2021年 8 月 25 日
Ivanti Software 株式会社

Ivanti、RiskSense を買収しパッチ管理市場変革へ。
サイバー脅威とランサムウェア攻撃に対する顧客の積極的な対策を支援
～ RiskSense により、「Ivanti Neurons for Patch Intelligence」に 強固なリスクベースの脆弱性優先順位付けと修復機能を追加 ～

あらゆる IT 接続をよりスマートに、より安全にするオートメーションプラットフォームを提供している Ivanti（本社：ユタ州ソルトレイクシティー、代表者：Jim Schaper）は、2021 年 8 月 2 日、リスクベースの脆弱性管理と優先順位付けのパイオニアである RiskSense 買収に関する最終合意に署名し、パッチ管理のさらなる進化を加速させると発表しました。この組み合わせにより、パッチ管理にリスクベースの積極的なアプローチを取ることで、組織は攻撃対象領域を縮小し、脆弱性を優先的に修正して、サイバー脅威やランサムウェア攻撃にさらされる可能性を減らすことができます。「Ivanti Neurons for Patch Intelligence」の顧客向けには、強固なリスクベースの脆弱性優先順位付けと修復機能の一部はすでに利用可能となっています。RiskSense との買収条件は明らかにされていません。

RiskSense の CEO、Srinivas Mukkamala 氏は次のように述べています。
「過去 2 年間で、ランサムウェアなどのサイバー攻撃は、単に迷惑なものから一線を超え、真に社会を混乱させるものになりました。また、パッチが適用されていない脆弱性は、依然として組織のエコシステムへの侵入の一般的なポイントの 1 つです。私たちは、ランサムウェアに対する世界的な戦いに取り組んでいます。そして、リスクベースの脆弱性優先順位付けと自動パッチインテリジェンスを組み合わせることで、組織のリスクを軽減し、グローバルなサイバースペースに大きな影響を与えることができると確信しています。RiskSense と Ivanti が一つになることで、お客様は運用効率を向上させ、ランサムウェア攻撃などの高度なサイバー脅威から組織を守ることができます。」

この組み合わせにより、特にランサムウェアに関連する重大な脆弱性を含むサイバー脅威を検出、発見、修正、および対応するまでの平均時間が短縮されます。Ivanti と RiskSense はともに、積極的に悪用されている脆弱性がランサムウェアに関連付けられているかどうかなど、組織がさらされている脆弱性に関するコンテキストと適応情報をセキュリティチームと IT チームに提供し、そうした脅威を迅速に修正できるようにします。これにより、サイバー攻撃者に使用される武器化された脆弱性に対抗する際の、セキュリティチームと IT 運用チームの効率性と有効性が向上します。

Ivanti はすでに、脅威情報、激しさを増す攻撃の傾向、セキュリティアナリスト検証などの要素に基づいて、攻撃者のリスクを優先順位付けし、定量化する「RiskSense Vulnerability Intelligence」と「Vulnerability Risk Rating」を「Ivanti Neurons for Patch Intelligence」に統合しました。この機能は現在、RiskSense ライセンスをお持ちの「Ivanti Neurons for Patch Intelligence」のお客様に提供されています。折しも、ホワイトハウスは最近、リスクベースの評価戦略を使用したパッチ管理の推進と、ランサムウェア攻撃に対するサイバーセキュリティ強化を推奨する書簡を発表しました。また Gartner は、セキュリティおよびリスク管理の専門家が 2021 年にビジネス価値を向上させ、リスクを軽減するために重点的に取り組む必要があるセキュリティプロジェクトとして、リスクベースの脆弱性管理を第一に挙げています。

Ivanti の会長兼 CEO、Jim Schaper は次のように述べています。
「Ivanti は長年にわたりパッチ管理をリードしてきましたが、RiskSense の買収によって当社の能力はさらに高いレベルへと向上します。この組み合わせにより、当社のお客様は脆弱性とリスクに晒される度合を総合

的に把握し、Ivanti Neurons for Patch Intelligence を介して迅速なアクションを取れるようになります。脆弱性情報や活発化している攻撃とランサムウェア攻撃に基づく修正の優先順位付けにより、攻撃対象領域や侵害のリスクを大幅に減らすことができるのです。」

続けて Mukkamala 氏は次のように述べています。
「リスクベースの脆弱性の優先順位付けと自動パッチインテリジェンスの組み合わせは、市場で唯一のものです。Ivanti と RiskSense は、2 つの強力なデータセットを統合しています。RiskSense には、脆弱性や攻撃に関する最も堅牢なデータがあり、国や政府の後ろ盾を持ち RaaS（Ransomeware as a Service）へと進化しているランサムウェアグループに対して脆弱性や攻撃をマッピングする機能が含まれています。そして、Ivanti はパッチに関する最も堅牢なデータも有しています。Ivanti と RiskSense が一つになることで、お客様は適切なタイミングで適切な行動を取り、今日最大のセキュリティ脅威であるランサムウェアに対し効果的な防御ができます。」

Fortune500 の最高情報セキュリティ責任者、Michael Montoya 氏は次のように述べています。
「脅威コンテキストなしでパッチを適用することは効果的ではありません。しかし、多くの IT およびセキュリティチームはすべての脆弱性にパッチを適用しようとしています。Ivanti と RiskSense の組み合わせは、脆弱性の弱点を優先的に特定し、修正を促進することで、組織に真の価値をもたらします。」

BMO キャピタル・マーケットは、この買収に関する Ivanti の財務アドバイザーを単独で務めました。

◆Ivanti について

Ivanti は「Everywhere Workplace」を実現します。「Everywhere Workplace」では、働く場所にかかわらず、従業員は多種多様なデバイスでさまざまなネットワークから IT アプリケーションやデータにアクセスし、高い生産性を保つことができます。Ivanti Neurons 自動化プラットフォームは、業界をリードする統合エンドポイント管理、ゼロトラストセキュリティと、エンタープライズサービス管理のソリューションをつなぎ、デバイスの自己修復および自己保護、またエンドユーザーのセルフサービスを可能にする統合 IT プラットフォームを提供します。 Fortune 100 の 78 社を含む 40,000 社以上のお客さまが、クラウドからエッジまで IT 資産を検出、管理、保護、保守し、働く場所にかかわらず従業員に優れたエンドユーザー体験を提供するために Ivanti を選択しています。 詳細については、www.ivanti.co.jp をご参照ください。

◆RiskSense について

RiskSense®, Inc.は、サイバーセキュリティリスクを測定および制御するための脆弱性管理と優先順位付けを提供しています。クラウドベースの RiskSense プラットフォームは、リスクベースのスコアリング、分析、侵入テストを加速させるテクノロジー基盤を使用して、重要なセキュリティ上の弱点を特定し、それに対応する修正アクションプランを作成し、セキュリティおよび IT チームの効率と効果を劇的に改善します。詳細については、www.risksense.com にアクセス、または LinkedIn や Twitter でフォローしてください。